

第3回 横浜市都筑区地区センター及び横浜市つづき緑寿荘指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	令和3年8月27日（金）9時00分～15時00分
開催場所	都筑区役所5階 第1会議室
出席者	名和田委員長（法政大学法学部教授） 秋山委員（税理士） 久保委員（都筑区連合町内会自治会地域活性部会） 桑原委員（都筑区老人クラブ連合会会長） 竹迫委員（参画はぐくみ工房代表）
欠席者	なし
開催形態	一部非公開（傍聴者 北山田地区センター2名・大熊スポーツ会館2名・東山田スポーツ会館2名）
議題	1 面接審査 2 採点審査（指定候補者の決定）
決定事項	第4期指定管理者の候補者を次のとおり選定した。 1 北山田地区センター 指定候補者は、特定非営利活動法人つづき区民交流協会とする。 2 大熊スポーツ会館 指定候補者は、特定非営利活動法人つづき区民交流協会とする。 3 東山田スポーツ会館 指定候補者は、特定非営利活動法人つづき区民交流協会とする。
議事等	確認事項 1 第3回委員会における審議施設及び申請状況について 第3回委員会では、北山田地区センター、大熊スポーツ会館及び東山田スポーツ会館の指定候補者を選定することを確認した。 それぞれ1団体の応募があり、全団体が欠格事項には該当しないことを事務局から報告した。 2 面接審査の進行について 応募団体による15分間のプレゼンテーションの後、15分間の質疑応答を行うことを確認した。 3 議題の進行について 議題1（面接審査）及び議題2（採点審査、指定候補者の決定）は、施設ごとに審議するものとし、審議の順番は、北山田地区センター、大熊スポーツ会館及び東山田スポーツ会館とする。

北山田地区センター

1 面接審査【特定非営利活動法人つづき区民交流協会】

(1) プレゼンテーション（応募団体から説明）

(2) 質疑応答

(委員) 専任の地域コーディネーターだが、協会の人員を増やすことになる。他の人件費を削ることも想像されるが、そうすると職員のモチベーションにも影響があると思う。そこでキャリアアップの流れを確立し、モチベーションをアップするという戦略をとり、地域コーディネーターを配置するという考えでよいか。

(回答) 事務局員を増員することになるので、全体的な財務状況や今後の展開を見据えた上で職員への待遇を考慮し、やりくりしていく。現在の地区センターの3館長は全員プロパーである。やりたいことへの意欲を持った職員も多く、プロパー職員を育成していきたい。人に投資をして人が生きることが組織の活性化につながると考えている。

(委員) 館長が女性で若く、女性の積極登用を意識していると感じた。女性が働きやすい職場環境についてどう考えているか。地域連携から一步踏み出すネットワークづくりとは具体的にどのようなものか伺いたい。

(回答) 協会としては人材育成と人権感覚の涵養に重きを置いている。女性を優遇しているわけではなく、男女平等を据えているが、現状として意欲的な女性の応募が多い。

地域連携から一步踏み出すネットワークづくりについては、これまで関係性を築いてきた団体だけでなく、新たな連携先を見つけていきたいと考えている。連携することが目的でなく、その先にある住民の交流といった生活の充実につなげていきたい。例えば、青少年の見守り事業では都筑多文化・青少年交流プラザと連携しているが、相談できる専門的機関にもつながられるようネットワークづくりを進めていきたい。

(委員) 北山田は住み続けたい街ランキング神奈川県内1位になったが、地区センターとして意識していることはあるか。令和元年度に自主事業が増収となったが、その要因は何であるか。

(回答) ランキングの話題があがった時には、色んな団体で「一緒に何かできるといいね」という話になったので、これから具体的に新たな事業を進めていきたい。地域連携でいうと、これまでも山田地区のそれぞれの施設でTシャツをつくり、それを子どもたちが着て、地域のみなさんにお披露目するイベントを実施してきた。

自主事業は平成30年度に地域に取り入れたいものやニーズのあるものなど事業の大幅な見直しを行った。シニア向けには目的別体操やエンディングノートづくりを地域ケアプラザと連携して行った。防災に関しては災害時の意識の持ち方や防災方法に関する講演会を実施した。

(委員) 高齢者の健康づくりの支援や講座を設けるとあるが、他に高齢者支援はどのようなことをやっていくのか。

(回答) 機器の扱いに慣れていない人向けに1年程前からスマホ講座を実施している。今後はボランティアの協力を仰ぎ、スマホの相談コーナーを設けていくことや、スマホのゲームを制作したシニアの方の講演会も予定している。

2 指定候補者の選定

特定非営利活動法人つづき区民交流協会を指定候補者とする。(603/825点)

3 講評

【特定非営利活動法人つづき区民交流協会】

- ・地域連携が十分にとれていることと、地区センターは地域活動拠点であることがスタッフにも浸透していることは高く評価したい。今後も継続して地域連携を進めてほしい。
- ・自主事業についてはカルチャー系が多いように見受けられたため、地域活動拠点として社会教育や新たな人材育成につながる事業も企画してほしい。また、どういう狙いで戦略的に地域づくりを進めていくのかといったプランを練ってほしい。
- ・区社会福祉協議会による地域アセスメントを活かして、地区特性の分析をさらに深めてほしい。分析結果を活用して、地区センターのあり方や自主事業を打ち出すとなおよいと思われる。

大熊スポーツ会館

1 面接審査【特定非営利活動法人つづき区民交流協会】

- (1) プレゼンテーション (応募団体から説明)
- (2) 質疑応答

(委員) 自主事業に近年新たなものがないようだが、どのように考えているのか。

(回答) 近年は利用者より好評だった卓球教室の回数を増やしている。また、高齢者向けの太極拳やヨガなどの教室も設けていきたいと考えている。さらには、ミーティング室の有効活用のため、口腔ケアや健康づくりに関する講座を行う予定である。

一方で、令和3年度予算において事務局から事務経費を支出する形となっており、通常の運営をしていくだけでも精一杯という状況になっている。まずは安全安心を第一に地域の方に施設を利用していただけるよう努めていきたい。

(委員) 徒歩圏内に仲町台3・4丁目があり、新旧混在しているエリアとなっているが、利用促進の取組はどのようなものがあるのか。収入に寄付金があるが認定NPO法人として今度どのような考えをお持ちか伺いたい。

(回答) 現状、近隣の大熊町や折本町の利用者が多いが、仲町台エリアに対してのPRに力をいれていきたいと考えている。

寄付金については、スポーツ会館委員会で直接寄付をお願いして、認知を高めている。少しずつだが、協力をしてくれる人も増えている。

(委員) 施設に貸出器具はあるのか。

(回答) 個人利用者に卓球のラケットの貸出を行っている。

(委員) 近隣の小学校が利用することはあるのか。

(回答) 現状学校の課外授業として利用することはないが、今後の運営の参考にさせていただきたい。

2 指定候補者の選定

特定非営利活動法人つづき区民交流協会を指定候補者とする。(520/750点)

3 講評

【特定非営利活動法人つづき区民交流協会】

- ・施設の安全安心な管理に注力しており、今後も指定管理者として任せて問題はないと考えられる。
- ・自前で修繕を行うなど経費を抑えようとする取組や館長補佐を配置するなどして一人体制を是正しようとする人員体制の工夫は評価できる。
- ・地域のボランティアやスポーツに興味のある方など応援してくれる人を見つけ一緒に運営していけるとなおよい。
- ・自主事業に誰もが気軽に楽しめるインクルーシブスポーツを取り入れ、種類を増やすことを検討するとよい。
- ・自治会に働きかけるなどして、仲町台エリアからの利用促進にも力を入れてほしい。

東山田スポーツ会館

1 面接審査【特定非営利活動法人つづき区民交流協会】

(1) プレゼンテーション(応募団体から説明)

(2) 質疑応答

(委員) 東山田スポーツ会館は比較的アクセスもよく、ミーティング室の需要もありそうだが、利用促進についてどのように考えているのか。いきいき健康体操と健康体操教室はどう違うのか。自閉症支援をしている社会福祉法人横浜やまびこの里に清掃ボランティアをお願いしていたようだが、今でも続いているのか伺いたい。

(回答) ミーティング室のPRも行っているところだが、約25㎡と使い勝手がよくないこともあり、現状では小規模の自主事業やサークル活動などで利用されている。今後は自主事業の講座を充実させ稼働率を上げていきたい。

いきいき健康体操は自主事業で毎週行うものだが、健康体操教室は保健活動推進員により年数回行われるものである。

横浜やまびこの里には月1回清掃ボランティアをお願いしていた。今は新型コロナウイルスの影響で中止しているが、ゆくゆくはご協力いただきたいと考えている。

(委員) 次期指定管理者となった場合の見通しや将来像について詳しく伺いたい。

(回答) 東山田スポーツ会館館長と北山田地区センター館長を兼任することで情報共有を図ることができるため、両方の施設をPRしていきたい。また、館長補佐が両方のスポーツ会館を見ることでそれぞれの施設のいいことと悪いことをフィードバックできる体制も確立しているので、今後はスポーツ会館同士の情報共有の場も設けていきたい。

まずは安全安心な施設運営が一番の目標であるが、新型コロナウイルスだけでなく熱中症も心配している。山田地区にある様々な施設の会合が発足し、施設を紹介する山田通信を発行して近隣住民へPRを行った。今後こういう機会を増やしていきたいと考えている。

(委員) スポーツ会館委員会に港北区の方が来ているようだが、何か発展した取組はあるのか。

(回答) 都筑区の方と港北区の方の利用がほぼ半々になっている。双方、スポーツ会館に求めていることは似ていて、健康づくりや運動できる環境を求めている。委員会では都筑区の方、港北区の方、学校関係に精通している方にご意見を頂戴し、それに応える形で運営を展開している。

(委員) スポーツ室の利用率は非常に高いが、多目的広場やテニスコートなど屋外の利用促進をどのように進めていくのか。

(回答) スポーツ室は団体利用が多いため、コマ時間を短くし、多くの団体に利用してもらえることも検討していきたい。また、利用用途によっては多目的広場やミーティング室の利用を提案し、利用促進を進めていきたい。

2 指定候補者の選定

特定非営利活動法人つづき区民交流協会を指定候補者とする。(529/750点)

3 講評

【特定非営利活動法人つづき区民交流協会】

- ・施設の安全安心な管理に注力しており、今後も指定管理者として継続して運営を任せて問題はないと考えられる。
- ・ミーティング室の利用は全体的な需要を考えるとまだ伸ばせるはずなので、引き続いての創意工夫に期待するとともに、スポーツ室の稼働率が高いため、新規利用者が利用できるよう配慮を求めたい。
- ・人員の制約はあるが、スポーツ推進委員や地域ボランティアの方々と協力し

	<p>ながら運営していくことを検討してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業は運動だけでなく、子育て支援や地域づくりに資するものも検討し、スポーツでの利用でなくとも、居場所があるということをもっとアピールしてほしい。
そ の 他	
資 料	<p>(資料1) 第3回選定委員会タイムスケジュール</p> <p>(資料2) 評価・採点方法について</p> <p>(資料3) 横浜市都筑区地区センター及び横浜市つづき緑寿荘指定管理者公募に際しての「団体の資質・実績」の評価について</p> <p>(資料4) 採点審査について</p> <p>(資料5) 評点表</p>